

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年2月5日

【四半期会計期間】 第8期第1四半期(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

【会社名】 株式会社ノエビアホールディングス

【英訳名】 N o e v i r H o l d i n g s C o . , L t d .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 倉 俊

【本店の所在の場所】 神戸市中央区港島中町六丁目13番地の1

【電話番号】 078 (303) 5121(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 羽 生 光 嘉

【最寄りの連絡場所】 神戸市中央区港島中町六丁目13番地の1

【電話番号】 078 (303) 5121(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 羽 生 光 嘉

【縦覧に供する場所】 東京本社  
(東京都中央区銀座七丁目6番15号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第7期 第1四半期 連結累計期間	第8期 第1四半期 連結累計期間	第7期
会計期間	自 2016年10月1日 至 2016年12月31日	自 2017年10月1日 至 2017年12月31日	自 2016年10月1日 至 2017年9月30日
売上高 (百万円)	14,666	15,400	54,473
経常利益 (百万円)	3,360	3,952	10,291
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,133	1,114	7,077
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,496	1,291	7,729
純資産額 (百万円)	53,150	45,367	59,365
総資産額 (百万円)	88,262	78,880	93,567
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	31.99	32.05	199.64
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	60.0	57.2	63.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,340	776	8,136
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	24	△313	△1,426
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△4,230	△15,252	△4,389
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	36,190	25,575	40,350

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間（2017年10月1日～2017年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み緩やかな回復を続けているものの、為替相場の変動や海外経済の不確実性などにより、景気の動向は不透明に推移しました。

当社グループが事業を展開する国内外の市場においては、消費者の多様な潜在需要が見込まれます。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,400百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は3,908百万円（同20.6%増）、経常利益は3,952百万円（同17.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,114百万円（同1.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①化粧品事業

化粧品事業の売上高は12,165百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は4,254百万円（同16.4%増）となりました。カウンセリング化粧品の売上は、高級基礎化粧品シリーズが順調に推移しました。セルフ化粧品の売上は、好調に推移しました。

#### ②医薬・食品事業

医薬・食品事業の売上高は3,149百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は240百万円（同60.1%増）となりました。

#### ③その他の事業

その他の事業の売上高は85百万円（前年同期比64.2%減）、セグメント損失は38百万円（前年同期のセグメント損失は21百万円）となりました。

#### (2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14,686百万円減少し、78,880百万円となりました。主に、現金及び預金が14,773百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ688百万円減少し、33,513百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が1,019百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13,997百万円減少し、45,367百万円となりました。主に、自己株式の消却9,971百万円、前期末配当5,317百万円により、利益剰余金が14,174百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は57.2%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末の40,350百万円に比べ14,774百万円減少し、25,575百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は776百万円（前年同期比1,564百万円の収入減）となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益3,938百万円と、減少要因としては、法人税等の支払及び還付2,486百万円、仕入債務の減少1,023百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は313百万円（前年同期比337百万円の支出増）となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出311百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は15,252百万円（前年同期比11,022百万円の支出増）となりました。これは、主に、自己株式の取得による支出9,971百万円、配当金の支払5,251百万円によるものであります。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、249百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	145,000,000
計	145,000,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2017年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2018年2月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	34,156,623	34,156,623	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	34,156,623	34,156,623	—	—

(注) 当社は、2017年11月7日開催の取締役会において自己株式の消却を決議し、2017年11月28日に自己株式1,295,030株の消却を実施いたしました。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2017年11月28日 (注)	△1,295,030	34,156,623	—	7,319	—	1,830

(注) 自己株式の消却による減少であります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2017年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2017年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 35,448,900	354,489	—
単元未満株式	普通株式 2,753	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	35,451,653	—	—
総株主の議決権	—	354,489	—

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式30株が含まれております。

2 当社は、2017年11月7日開催の取締役会において自己株式の消却を決議し、2017年11月28日に自己株式1,295,030株の消却を実施いたしました。これにより、総株主の議決権個数は12,950個減少しております。

② 【自己株式等】

該当事項はありません。

なお、当社は、2017年11月7日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、2017年11月9日に自己株式(普通株式)1,295,000株を取得いたしました。

また、同日開催の取締役会において自己株式の消却を決議し、2017年11月28日に自己株式(普通株式)1,295,030株の消却を実施いたしました。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2017年10月1日から2017年12月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2017年10月1日から2017年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,424	25,650
受取手形及び売掛金	※1 11,922	※1 12,587
商品及び製品	5,859	5,843
仕掛品	107	96
原材料及び貯蔵品	1,240	1,141
繰延税金資産	782	661
未収入金	3,250	2,887
その他	633	651
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	64,200	49,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,477	4,394
機械装置及び運搬具（純額）	3,505	3,379
土地	13,716	13,716
リース資産（純額）	1,439	1,412
建設仮勘定	54	204
その他（純額）	192	200
有形固定資産合計	23,384	23,307
無形固定資産		
のれん	48	37
ソフトウェア	153	140
その他	85	85
無形固定資産合計	288	263
投資その他の資産		
投資有価証券	2,438	2,625
退職給付に係る資産	161	174
繰延税金資産	1,861	1,804
その他	1,270	1,237
貸倒引当金	△38	△32
投資その他の資産合計	5,693	5,809
固定資産合計	29,366	29,380
資産合計	93,567	78,880



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,860	4,841
リース債務	116	116
未払金	3,077	3,065
未払法人税等	1,993	1,648
賞与引当金	83	50
返品調整引当金	388	414
その他	1,166	1,970
流動負債合計	12,687	12,107
固定負債		
リース債務	1,438	1,410
長期預り保証金	14,323	14,202
繰延税金負債	422	452
退職給付に係る負債	5,196	5,206
その他	134	134
固定負債合計	21,515	21,406
負債合計	34,202	33,513
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	51,243	37,068
自己株式	△0	△0
株主資本合計	58,562	44,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	819	948
為替換算調整勘定	△107	△86
退職給付に係る調整累計額	△99	△98
その他の包括利益累計額合計	612	763
非支配株主持分	189	216
純資産合計	59,365	45,367
負債純資産合計	93,567	78,880

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
売上高	14,666	15,400
売上原価	4,778	4,958
売上総利益	9,888	10,441
販売費及び一般管理費	6,647	6,532
営業利益	3,240	3,908
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5	6
為替差益	30	0
受取和解金	51	3
その他	32	32
営業外収益合計	120	44
営業外費用		
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	3,360	3,952
特別利益		
固定資産売却益	174	0
特別利益合計	174	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	14
減損損失	199	—
特別損失合計	201	14
税金等調整前四半期純利益	3,334	3,938
法人税、住民税及び事業税	2,207	2,650
法人税等調整額	△21	151
法人税等合計	2,185	2,801
四半期純利益	1,148	1,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,133	1,114

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	1,148	1,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	128
為替換算調整勘定	221	25
退職給付に係る調整額	22	0
その他の包括利益合計	347	154
四半期包括利益	1,496	1,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,464	1,264
非支配株主に係る四半期包括利益	32	26

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,334	3,938
減価償却費	382	440
減損損失	199	—
のれん償却額	11	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	△33
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	58	26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△88	—
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	—	△3
受取利息及び受取配当金	△7	△8
為替差損益 (△は益)	△15	0
固定資産除売却損益 (△は益)	△173	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,325	△651
たな卸資産の増減額 (△は増加)	353	130
仕入債務の増減額 (△は減少)	263	△1,023
預り保証金の増減額 (△は減少)	△136	△120
その他	938	540
小計	3,774	3,255
利息及び配当金の受取額	6	7
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,440	△2,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,340	776
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△17	△18
定期預金の払戻による収入	17	18
投資有価証券の取得による支出	△90	△0
有形固定資産の取得による支出	△87	△311
有形固定資産の売却による収入	211	0
無形固定資産の取得による支出	△9	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	24	△313
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△9,971
配当金の支払額	△4,200	△5,251
その他	△29	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,230	△15,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,705	△14,774
現金及び現金同等物の期首残高	37,895	40,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 36,190	※1 25,575

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
受取手形	95百万円	169百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自2016年10月1日至2016年12月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

(株)ノエビアでは、「スキンケアフェア」(冬、夏)を実施するため、その期間に対応する連結会計期間の売上高及び利益の比重が高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
現金及び預金	36,261百万円	25,650百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△71百万円	△74百万円
現金及び現金同等物	36,190百万円	25,575百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2016年11月8日 取締役会	普通株式	4,254	120	2016年9月30日	2016年12月8日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

前連結会計年度末日と比較して株主資本の金額に著しい変動はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年11月7日 取締役会	普通株式	5,317	150	2017年9月30日	2017年12月8日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2017年11月7日開催の取締役会において自己株式の取得及び消却を行うことを決議し、2017年11月9日に自己株式1,295,000株(9,971百万円)を取得して、2017年11月28日に自己株式1,295,030株(9,971百万円)を消却いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が9,971百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	11,233	3,193	238	14,666	—	14,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	43	43	△43	—
計	11,233	3,193	282	14,709	△43	14,666
セグメント利益又は損失(△)	3,655	150	△21	3,784	△543	3,240

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△543百万円の内訳は、セグメント間取引消去76百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△620百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化粧品事業」及び「医薬・食品事業」において、売却することとなった施設の土地・建物等について、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「化粧品事業」189百万円、「医薬・食品事業」10百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	12,165	3,149	85	15,400	—	15,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	46	46	△46	—
計	12,165	3,149	132	15,446	△46	15,400
セグメント利益又は損失(△)	4,254	240	△38	4,456	△548	3,908

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△548百万円の内訳は、セグメント間取引消去174百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△722百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	31.99円	32.05円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	1,133	1,114
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	1,133	1,114
普通株式の期中平均株式数(株)	35,451,623	34,775,966

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

2017年11月7日開催の取締役会において、2017年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

① 配当金の総額	5,317百万円
② 1株当たりの金額	150円00銭
③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2017年12月8日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年2月2日

株式会社ノエビアホールディングス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新 免 和 久 ⑩

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 崎 充 弘 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ノエビアホールディングスの2017年10月1日から2018年9月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2017年10月1日から2017年12月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2017年10月1日から2017年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ノエビアホールディングス及び連結子会社の2017年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。